



 **議会だより** No.159

新年のご挨拶 P 2
11月臨時会 P 3
12月定例会・委員会質疑 P 4

議決結果 P 6
議会の動き P 7
一般質問 P 8～
あとがき・マチカドフォーカス P 20

新年のご挨拶



荻田町議会議長
沖永 義樹

明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

また、日頃から、議会運営や議会活動に対して温かいご支援、ご協力を賜り、議員一同、厚く御礼申し上げます。昨年は議員の改選がおこなわれ、町民の皆様の付託を受けた16名の議員による新たな体制の下で始動いたしました。二元代表制の一翼を担う議会として、その責任の重さを改めて感じるとともに、本町の更なる発展に向けて、機能を十分に発揮できるよう、決意を新たにしております。

さて、社会に目を向けると、人口減少、少子高齢化が進行し、地方創生や地域の活性化が大きな課題となっております。

す。また、昨今の歴史的な物価高騰により、町民の皆様は大変な不安な思いをされていることと推察いたします。

議会といたしましても、積極的な議会改革、議会の活性化に努めます。また、重要課題である、人口減少対策のほか、福祉、子育て、教育、防災・減災対策、物価高騰の対応等に一生懸命取り組み、町民の皆様の安全・安心な暮らしを守り、活力ある荻田町の実現に努めてまいります。今後とも町民の皆様のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

結びにあたり、本年が町民の皆様にとりまして、笑顔と希望にあふれる実り多い一年となりますよう、心からお祈り申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

今年が辰年です。12年前の出来事をまとめてみました。

辰年 エトセトラ

2012年(平成24年)は
こんな年でした

- 九州北部豪雨
- 九州新幹線西九州ルート諫早ー長崎間の起工式挙行
- 山中伸弥教授がノーベル賞受賞
- ロンドンオリンピック日本勢史上最多メダル獲得
- 【荻田町では…】
- 日産自動車九州(株)と西日本工業大学が産学連携協定締結
- 「荻田町行政改革推進本部」設置
- スターフライヤー「国際旅客定期便、北九州空港発着釜山便就航」
- 荻田町議会初の議会報告会開催
- 荻田駅前イルミネーションスタート

11月 臨時会

一般会計補正予算等を審議

11月14日

補正予算

一般会計補正予算(第7号)は、4億5937万円を追加し、補正後の総額は168億1200万8千円。

専決処分

一般会計補正予算(第6号)は、1500万円を追加し、補正後の総額は163億5264万8千円。

委員会質疑

厚生文教 常任委員会

●専決処分について (一般会計補正予算(第6号))

Q 外壁面の改修は年度内に追加補正はあるのか。
A 外壁の剝離等が見つかれば補正の可能性がある。



実際にドローンを使って撮影された油木ダム(令和6年1月)



町で導入したドローン

Q 検査は目視でしたのか。

A 全校、目視で行った。

Q ドローン等の活用は。

A 今後、検査体制を整える。

12月 定例会

一般会計補正予算等21件、 発議1件、意見書1件を審議

12月5日
～
12月21日

補正予算

一般会計補正予算(第8号)は、2億3389万円を追加し、補正後の総額は170億4589万8千円。

条例制定

●こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律等の施行に伴い、引用条例の整理が必要となる関係条例の規定を改正。

*令和5年度補正予算(歳出で補正した主なもの)

【一般会計(第7号)】 ・荻田中学校長寿命化改修事業に係る工事費	4億5936万円
【一般会計(第6号)】 ・修繕料	1500万円

*令和5年度補正予算(歳出で補正した主なもの)

【一般会計(第8号)】 ・リーディングDXスクール事業 ・まちづくりの拠点施設建設基本計画策定業務委託(債務負担行為) ・白石地区交差点改良設計業務委託 ・企業立地促進奨励金 ・雇用促進奨励金	95万円 842万円 3300万円 1915万円 50万円
【国民健康保険特別会計(第3号)】	▲34万円
【後期高齢者医療保険特別会計(第2号)】	30万円
【介護保険特別会計(第2号)】	2501万円
【土地区画整理事業特別会計(第3号)】	124万円
【臨空産業団地開発事業特別会計(第1号)】	51万円
【下水道事業会計(第3号)】	103万円
【水道事業会計(第2号)】	1208万円
【一般会計(第9号)】 ・価格高騰重点支援給付金事業 ・新型コロナウイルス予防接種健康被害救済給付金	3億1747万円 4442万円

条例改正

●行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例

●行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の改正により別表等を改正。

●一般職の任期付職員採用等に関する条例

●職員の給与に関する条例

●企業職員の給与の種類及び基準に関する条例
●人事院勧告による月例給与を平均0.96%、期末手当・勤勉手当を0.05ヶ月分引き上げる。
●子ども医療費の支給に関する条例

子ども医療費の支給対象者について、本町では、「子どもの保護者」

を必要と認められた場合には、当該子ども本人を支給対象者とみなすことができるようになるため。

●公共下水道条例
インボイス制度開始により、下水道料金の徴収単位を10円単位から1円単位に変更するもの。

●給水条例
水道整備・管理行政が厚生労働省から国土交通省及び環境省へ移管されるため、所要の改正。また、インボイス制度開始により、水道料金の徴収単位を10円単位から1円単位に変更するもの。
●水道事業布設工事監督者及び水道技術管理

者の資格等に関する条例

水道整備・管理行政が厚生労働省から国土交通省及び環境省へ移管されるため、所要の改正。

●国民健康保険条例
産前産後期間に係る所得割額及び被保険者均等割額の減額並びに届出が規定されたため、法に準じて条例の改正。

●手数料条例
戸籍法の一部改正に伴い、地方公共団体の手数料の標準に関する政令の改正が行われ、それに併せて戸籍証明の広域交付等に係る手数料を定めるとともに事務の内容の整備を行う。

その他の議案

●町道路線の認定について
都市計画法第40条の帰

属に伴う道路を、道路法に基づき町道として認定。

発議

●特別委員会の設置
荻田町総合保健福祉センター（パンジープラザ）の移転に関する特別委員会

追加議案

一般会計補正予算（第9号）は、3億6187万3千円を追加し、補正後の総額は174億777万1千円。
令和5年度の住民税非課税世帯に対し、一世帯あたり7万円を給付。
●新型コロナウイルス予防疫種健康被害救済給付金を給付する費用。

意見書

●医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書

議案質疑

●一般会計補正予算（第8号）
【土木費】
●場所、金額の根拠については。
●場所、県道門司行橋線の白石工業団地入口交差点と行橋側の交差点。現地測量、交通量調査に伴う詳細設計。
●期間と完了時期は。
●約1年程度を想定。できるだけ早く完成したい。



①県道門司行橋線の白石工業団地入口交差点
②行橋側の交差点

成したい。
【債務負担行為】
●具体的内容は。
●まちづくり観光協会や社会福祉協議会を中心に、交流および地域の活性化を目的とした施設建設。
●井場川はハザードマップ上で、危険な区域になっているが、対策は。
●被害の際には、事前に避難を促す。

委員会質疑

総務

常任委員会

●一般会計補正予算（第8号）

【総務費】
●所有者不明土地管理命令申立に係る予納金の内容は。
●大熊公園前の2筆の土地で、今回、民法改正により所有者不明土地の管理制度が創設されたため、行う申立てに必要な費用。
●町の財産になるのか。
●裁判所が管理人を選任し、管理人が売却、供託する。相続人が現れた場合は支払い、係った経費はそこから償還する。

【消防費】

●消防団格納庫設計業務委託料の内容は。
●1分団から5分団までの格納庫の老朽化に伴い、雨漏り等改修工事の設計業務による入札残。
【債務負担行為補正】
●まちづくり拠点施設建設基本計画策定業務委託料の内容は。
●利用者の分析や機能、施設規模、事業費や財源の検討、パブリックコメント等を行う予定。
●第1候補地の井場に予算を付けるのはおかしいのでは。再上程すべきでは。
●補正予算全体を取り下げることになる。特別委員会の議論で場所が決まれば執行する。

●一般会計補正予算（第9号）

●物価高騰対応重点支援交付金の内容は。
●非課税世帯に7万円を給付するもの。
●高齢者等の申請漏れがあるのでは。
●前回の給付金と同様、非課税世帯該当者にこちらから通知し、周知は徹底する。

産業建設

常任委員会

●一般会計補正予算（第8号）
●農林水産業費
●水路維持補修工事の場所は。
●猪熊区、稲光区、八田山区、二崎区の4か所。
●雇用促進奨励金は何名分か。

●4名分。

【土木費】
●測量・設計委託料の工事内容は。
●日産付近2か所の交差点の交通量等を調査の上、町道の交差点部分の一部改修。
●繰越明許費
●南原殿川線道路改良工事は、今後どう進むのか。
●令和8年3月の完成予定で進めている。
●信号の設置を検討しているのか。
●設置の方向で県とは協議をしているが、現時点では決定に至っていない。
●土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）
●繰越明許費
●与原土地区画整理事業の繰越理由は。
●地権者の事情によ

厚生文教

常任委員会

●一般会計補正予算（第8号）
●教育費
●物価高で、まない材料費も上がっている。給食費の無償化に取り組んでもらいたい。
●後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
●収支の見直しは。
●町ではしていない。ただ、一人当たりの医療費は低いほうだ。
●介護保険特別会計補正予算（第2号）
●申請者数は。
●要支援者が563人、要介護認定者が

1110人。
●北九州と比べて、認定が厳しいのでは。
●1市2町で行っており、研修も受けている。
●一般会計補正予算（第9号）
●新型コロナウイルス予防疫種健康被害救済給付金について、判定に国の規定はあるのか。
●死亡一時金は決まっている。
●判定の方法は。
●町に健康被害の調査委員会があり、その結果を県・国に送り、最終的に国が認定する。
●現在の申請件数は。
●5件あり、2件は認定済で、3件は進達中。

議会のうごき

10月	5日	初当選議員説明会（議会の基本事項の説明等）
	17日	全員協議会（臨時会（初議会）について）
	24日	令和5年第6回臨時会（初議会）開会
	25日	令和5年第6回臨時会（初議会）閉会 議会広報特別委員会（議会報第158号企画・編集について）
11月	2日	議会広報特別委員会（議会報第158号企画・編集について）
	6日	京都郡議会議員研修会「日本の政治のゆくえ」
	8日	議会広報特別委員会（議会報第158号企画・編集について）
	9日	厚生文教常任委員会（議会閉会中調査事項について）
	14日	全員協議会（令和5年第7回臨時会提出予定議案）
		議会運営委員会（令和5年第7回臨時会提出予定議案）
		令和5年第7回臨時会
		議会広報特別委員会（議会報第158号企画・編集について）
	15日	初当選議員研修会（法令等の読み方、予算決算書の読み方）
	20日	行政視察受け入れ（みやこ町）
22日	議会広報研修会	
30日	議員全員協議会（令和5年第8回定例会提出予定議案） 総務常任委員会（議会閉会中調査事項について）	
12月	1日	議会運営委員会（令和5年第8回定例会提出予定議案）
	5日	令和5年第8回定例会（開会）
	7日	議会広報特別委員会（議会報第159号企画・編集について）
		令和5年第8回定例会（議案質疑）
	13～15日	刈田町総合保健福祉センター（バンジープラザ）の移転に関する特別委員会（正副委員長長の互選、議会閉会中の調査事項の決定）
		令和5年第8回定例会（一般質問）
19日	付託委員会 刈田町総合保健福祉センター（バンジープラザ）の移転に関する特別委員会（バンジープラザの移転に関する経緯と経過）	
21日	令和5年第8回定例会（閉会） 議会広報特別委員会（議会報第159号企画・編集について）	

議会掲示板

3月定例会の予定

- *会期は2月26日（月）から3月22日（金）まで
- *一般質問は3月5日（火）・6日（水）・7日（木）
- *問合せ先 議会事務局 ☎093・434・1981

議会中継アクセス件数

12月末時点アクセス件数
(令和5年4月からの累計)

ライブ中継 **1066** 件
録画中継 **2609** 件

研修報告

福岡県町村議会 広報研修会

11月22日、博多サンライズホテルにて、福岡県町村議会主催の議会広報研修会があり刈田町議会からは6名が参加しました。

講師のグラフィックデザイナー長尾光弘氏により第1部広報紙制作の基本ポイント、第2部議会広報クリニックをテーマに研修を受けました。これからも町民の皆様が読みやすく、時代に合った“議会だより”を目指して取り組んでまいります。



令和5年第7回 刈田町議会臨時会議決結果一覧表

議案番号	議案題名	角崎	森	福	田	末	花	村	岩	尾	白	友	小	武	坂	榎	沖	結
		明	琢	山	淵	石	見	上	谷	形	石	田	山	内	本	谷	永	果
		美	磨	直	樹	伸	文	智	潔	均	学	而	美	幸	東	忠	長	
議案第83号	令和5年度刈田町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第84号	専決処分について (令和5年度刈田町一般会計補正予算（第6号）)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和5年第8回 刈田町議会定例会議決結果一覧表

発議第4号	刈田町議会特別委員会の設置について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第85号	令和5年度刈田町一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第86号	令和5年度刈田町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第87号	令和5年度刈田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第88号	令和5年度刈田町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第89号	令和5年度刈田町土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第90号	令和5年度刈田町刈田臨空産業団地開発事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第91号	令和5年度刈田町下水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第92号	令和5年度刈田町下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第93号	刈田町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第94号	刈田町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第95号	刈田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第96号	刈田町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第97号	刈田町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第98号	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第99号	刈田町公共下水道条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第100号	刈田町給水条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第101号	刈田町水道事業布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第102号	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第103号	刈田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第104号	刈田町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第105号	令和5年度刈田町一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第4号	医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○-賛成、×-反対 除-除斥（議案に利害関係を有するため退席） 欠-欠席
※議長は採決に加わらない。但し賛成、反対が同数の場合は議長判断による。意見書は関係機関に送付しました。

Q 低所得者への7万円の支給は

A 1月末から支給開始の予定



白石 学 (公明党)



Q 7万円の支給を年内にと、国は2度通知を出している。県から届いているのか。

A 本町にも届いている。臨時交付金には、生活者支援と事業者支援の推奨事業がある。町の考えは。

Q 年内支給のため、専決処分を考えは。

A 物価高騰で一番厳しい所はどこか、今後決定して検討する。

Q 国の正式決定を待つのが本来の手順だ。

A 多くの人が一度に来た場合、受付が混乱するが。

Q 専決処分をした自治体もある。物価高騰対策であり、町民の生活を守るため、早くできないか。

A 受付時、住所・氏名だけ聞き、避難が落ち着いた後、残りの情報を記入するよ

Q 今回の対応は、国の決定を待った。

Q 要配慮者を福祉避難所に移送する判断が難しい。知識がある人の配置がいるが。

Q 多くの人が一度に来た場合、受付が混乱するが。

A 内閣府の福祉避難所ガイドラインに判断基準がある。一般人でも振り分けが可

能な検討をする。
Q 問題が起きた時、相談先がわからないなどの声が多かった。対応は。
A 班同士の連携が取れていなかった。マニュアル化したい。
Q 26人の外国籍の参加があった。名札、通訳者がいたが、多言語表示やピクトグラムなどの考えは。
A 避難所案内を4か国語に訳したポスターを作製した。多言語の指差しボードの設置を検討する。

アナグマ3頭。
Q 松山地区は以前いなかったが、数年前から被害がひどくなった。ウリボウの処分方法は。
A 生まれたばかりのウリボウは基本的に逃がしている。

Q 松山地区は銃器使用禁止区域だが、銃器使用の許可はとれないか。
A 銃器は使用できない。捕獲は、ほぼ9割が箱わなだ。

避難所運営訓練



避難所運営訓練

野生動物対策

Q イノシシ等の駆除頭数は。
A 令和5年11月末で、イノシシが89頭、アナグマ5頭。4年度はイノシシ160頭、

Q 小波瀬西工大前駅周辺整備事業の取組状況は

A 町民や利用者が納得いくものになりたい



森 琢磨 (高志会)



Q 本年度の予算状況は。
A 令和6年度までの計画調査業務委託料2750万円。

Q 構想内容は。
A エレベーター設置、ホーム拡幅、自由通路と改札の連絡、東通路と駅前広場、道路の安全対策。

Q 財政の軽減方法は。
A 町支出削減を協議。国、県の補助金を活用する。

Q 町民等からのフィードバックは。

A 計画案を議会、地元等に報告する。

Q 地域等への対策は。
A 小騒音振動の工法採用、利用者への安全を配慮した計画。

Q エレベーター設置、ホーム拡幅、自由通路と改札の連絡、東通路と駅前広場、道路の安全対策。

Q 財政の軽減方法は。
A 町支出削減を協議。国、県の補助金を活用する。

Q 町民等からのフィードバックは。

Q 町民の期待に応じて透明かつ効果的な計画を策定し、早期の実現を。

福祉政策

Q 取組や計画は。
A 荇田町地域福祉計画を通じて、主体的に地域課題等に取り組みつながら隊に注力している。

Q 戦略計画は。
A 町共有施設を複合的に利用し、町予算を適正化。

Q 住民へのフィードバックは。
A アンケート調査、関係団体ヒアリング、住民ワークショップ等。

Q アンケート調査、関係団体ヒアリング、住民ワークショップ等。

イノシシ被害対策

Q 被害防止策は。
A 箱わなの設置、電気柵の費用補助。

Q 予算、報酬、捕獲確認方法は。
A 補助金は約61万円、わな管理は6万円、報酬は一頭7千円、写真提出で確認。

Q 農地と住民生活を守る対策強化を。
A 山地災害危険地区は福岡県と調査・協議。その他は所有者に管理依頼。

Q 山林整備は。
A 保安林は県に要望、以外は県の荒廃森林整備事業にて間伐。

Q しっかりりと県に要望すべきだ。

防災無線放送

Q 聞こえづらい方への対応は。
A 町のHP、LINE、E、TV放送、携帯電話のメール等。

Q 放送が頼りの高齢者への改善は。
A 調整は可能。

Q 改善すべきだ。

と快適住みやすいまち荇田」とある。他地域より、もっと低額でスポーツ等を楽しむ環境づくりを重視すべきだ。

Wi-Fi設置の推進

Q 昨年度の取組は。
A 本庁舎等9施設に設置。

Q 今年度及び今後の計画は。
A 今年度は総合福祉会館。今後の設置はない。

Q さらに充実させるために、公園や貴重な観光資源の等覚寺地域などに設置すべきだ。

Q 物流関連用地の確保を早急に

A 県と協議を重ねていく



武内幸次郎（無会派）



北九州市は地域未
来投資促進法を活用
し産業用地確保を行
うが、促進法とは。

A 企業や開発事業者
が事業計画策定を行
い、県承認で農振除
外が可能になる。

Q 県は、開発規制緩
和の対象に、物流関
連分野を追加指定す
る方針だが。

A 本町は、農村産業
法を活用すれば、同
等の支援が受けられ
る。

Q 空港滑走路の

3000m化で、用
地確保が急がれる。
二岐地区工業用地の
進捗は。

A 他自治体を参考に、
町主体から県主体も
視野に協議を進める。
提言 政治的なアク
ションを起こすべき
だ。

公営住宅の現状と課題

Q 町営住宅の老朽化
による管理コストの
推移は。

A 長寿命化計画によ

る経費が年々増加し
ている。

Q 本町は9団地ある
が目標管理戸数と入
居個数の現況は。

A 管理戸数は630
戸、入居戸数は381
戸。

Q 県営、民間賃貸住
宅、空き家などを勘
案し算定すべきだ。
今後の目標は。

A 長寿命化計画では、
2030年度に管理
戸数は490戸。
Q 家賃は所得や住棟
種別で異なるが、最

高・最低額は。

A 最高は5万5千円
で、最低は1400
円。

Q 耐用年数超過割合
は。

A 630戸の内、
434戸で68・9%。

Q 集約化が必要だ。
用途廃止の住棟数と、
入居状況は。

A 長畑団地は45戸。
現在38戸が入居して
いる。

Q 入居者の目標期限
を示すべきでは。

A 理解を得られるよ
うに進めていく。

ごみ処理施設更新

Q 以前より老朽化で
更新が必要だと言っ
てきたが、結論はい
つに。

A 執行部と協議は重
ねている。国県では、

付団体。

A 強く受け止め検討
したい。

入札制度

Q 予定価格と最低制
限価格を設定したり
しなかったりするの
はなぜか。

A 入札にかけるもの
は予定価格を立てる。
工事については両方
立て、委託について
は最低価格を設けて
いない。

Q 誰がどんな基準で
設定しているか。

A 担当課で設定し、
それに一定の率を掛
けて決める。

Q これら価格の公表
の有無は。

A 工事は事前公表、
委託は未公表。

Q 落札結果のうち予
定価格の上限が結構

広域化やごみ施設の
集約化を推進してお
り、状況を踏まえ検
討する。

提言 待たなしの状
況だ。結論を早急に
出すべきだ。

定住化施策

Q 全国自治体の大半
が人口減少に陥って
いる中、微増の本町

は恵まれている。こ
の期を逃すことなく
定住施策を行うべき
では。

A 教育、福祉、子育
てなど町の魅力を高
めていく。道路の整
備、都市計画区域見
直しなど指摘を受け、
さまざまな事を行っ
ている。協議が進め
ば提示する。



北九州空港滑走路

Q 学校給食費無償化を

A 財政健全化を前提に
考えたい



尾形 均（無会派）



Q 学校給食費完全無
償化の自治体は。

A 76団体。

Q 直近では245団
体となっているが、
無償化のメリットは。

A 保護者の負担軽減。
学校や町の事務担当
者の作業軽減。

Q 給食は子どもの基
本的福祉。現在、子
ども子育て支援と出
生率がイコールだと
議論されている。こ
の点は。

A そこまで考えたこ
とはない。負担が軽

減され、他の社会経
済を潤す。

Q 給食費と児童手当。
前者はすべての子ど
もに行き渡るが、
後者はそうではない
場合もあるのでは。

A 双方とも負担軽減
は好ましい。給食費
の年間約1億3千万
円の町負担は重い。
後者は国の負担。

Q 義務教育は完全無
償化が望ましい。給
食は受益者負担と考
えているのでは。

A 法に基づき、保護

者から徴収している。

Q 無償化すれば全国
でいくら。

A 約5120億円。
Q では国はなぜこの
手当ができないのか。
本町としては年間約
1億3千万円。これ
はできるはずでは。

A 全額でなくても段
階的にでも補助でき
ればと思う。状況が
許せばやりたい。

Q 来年度に考えられ
ないか。この補助は
他の政策とは違う。
ましてや本町は不交

ある。やや違和感を
覚えるが。

A 未公表となると、
特定の者のみが知り
得て不正が懸念され
る。ベストの方法は
ないにしても現時点
ではこの方法が一番
と思われる。

Q 本町は、長寿命化
計画、公共施設建設
計画があるが、これ
らへの影響は。

A 危惧している。資
材、人件費等の高騰
により当然、見直し
ていく。基金も積み
増やさなければなら
ない。
提言 極力、公明、公
正、合理的に行われ
るべきだ。結果につ
いて違和感がないよ
うに。



苅田町立学校給食センター

LINEメニューに 通報ツール導入を

A 次年度に向けて検討する



末石 伸二 (飛翔の会)



Q デジタル化に取り組んだ行政サービスは。

A 電子申請、手続きガイド、公共施設の予約システム、印紙等が不要な契約システム、公衆WiFi設置等。

Q マイナンバーカードの取得率は。

A 令和5年11月末で77% (人口割)。

Q 取得率アップに向けた取り組みは。

A 本人確認の利用に限定した顔認証カードが発行できることを広報で告知していく。

Q マイナンバーカードを利用した本町独自のサービスは。

A コンビニの各種証明書の取得手数料は窓口より100円安い。他には図書カードの代わりになる。

Q 来年度以降のデジタル化の取り組みは。

A 電子申請を拡充していくことや、デジタルが苦手な方には学習の機会を提供していく。

Q 本町におけるスマホの普及率は。

A 調査していない。総務省の情報通信白書では、世帯普及率が90・1%となっている。

Q スマホを持たない方や利用が難しい方へは。

A 手続きを行いたい利用者等のニーズに応じて、窓口で相談をしながら、選択肢を増やしていくことが必要。

Q 本町の公式LINEの登録者数は。

A 12月時点で7154人。

Q LINEを活用し、登録者側から道路や公園、河川等の危険箇所を通報できるツールを他の自治体でも導入しているが、本町も導入すべきでは。

A 通報ツールを含めLINEを活用した行政サービスの拡充を来年度検討している。

提言 誰でも、気軽に届けられる双方向コミュニケーションシステムの構築を。

環境をめぐる社会の 動向

Q 今後の脱炭素の取り組みは。

A 第四次荻田町地球温暖化対策実行計画に基づき、継続して取り組んでいく。

Q 次世代自動車の普及に向けて、行橋市同様に庁舎の急速充電の無料化は。

A 受益者負担の観点から難しい。

Q 脱炭素の取り組みとして、

公用車の次世代車へのシフトやEV自動車の家庭用充電器の補助の検討は。

A 荻田町地球温暖化対策実行計画の区域施策編を策定中であり、令和7年度までに完成予定である。

道路や街路灯の不具合をスマホで通報!



道路等の不具合をスマホで通報 (奈良市ホームページより)

提言 温室効果ガス排出量削減の取り組みは、具体的に整理をし、企業と連携を図ることが重要だ。

相談窓口で解決できない 問題の対応は

A 福祉の総合相談庁内 ネットワークで対応する



福山 直樹 (飛翔の会)



Q 包括支援体制整備をすすめる目的は。

A 総合相談、関係機関の協働体制づくりなど、地域共生社会を目指している。

Q 各相談窓口や担当課で解決できない複合的・複雑な問題の取り扱いは。

A 福祉の総合相談庁内ネットワークで対応している。

Q ネットワークの構成は。

A 各課の相談業務に携わる職員で構成し、

月例で解決に向けた協議をしている。

Q 協議している件数は。

A 令和5年度で、延べ22件 (実世帯数9世帯)。

Q すべて解決しているのか。

A 解決が2件、継続支援が20件。

Q 相談に来られない人や、支援を拒否している人への対応は。

A まず民生委員・児童委員、隣近所の地域住民に見つけても

らい、相談につなげていく。

Q 解決困難な問題に対し、新しい制度や仕組みが必要と思うが。

A 地域ケア会議などで課題を見つけ、解決のための新しい制度を検討していく。

Q 国では、重層的支援体制事業をすすめているが、本町の考えは。

A 現状の体制で、ある程度の形ができていく。交付金を受け

て実施するかは、今後も検討していく。

福祉教育

Q 本町の学校における福祉教育の位置づけは。

A 全ての人々が支え合い、幸福を目指して、教育活動全てを通じて行うこととしている。

Q 現状の福祉教育の取組は。

A 児童生徒の発達段階に応じて、年間カリキュラムの中で、計画的に行っている。

Q 社会福祉協議会との連携は。

A 体験学習や講話を行うときに、ゲストティーチャーなどの参加を依頼している。

Q 福祉教育の課題など、学校内で共有す

ることは。

A 社会福祉協議会の体験学習を一冊の冊子にして全職員が共有している。

Q 福祉教育読本「ともに生きる」の活用は。

A 毎年、小学4年生に配布し、活用している。

Q 体験学習のときに、PTAの保護者の協力は得られないか。

A 検討する余地はある。



福祉教育の様子

Q 子宮頸がん撲滅のための施策を

A 封書やLINE等で周知・啓発する



小山 信美 (公明党)



Q キャッチアップ(※1)接種者への本町の取り組みは。

A 対象者1314名に案内を封書で送付。さらに、25歳の104名に再度送付した。

Q 対象者の状況は。

A 令和5年10月時点で、接種者400名、接種率は30.4%。

Q 接種率をさらに上げるための周知等は。

A 封書で再度送付し、広報紙1面に必要性や対象者のお知らせを掲載。ホームページ

ジやLINE等でも通知する。

Q HPV(※2)に感染する男性の疾病は。

A 陰茎がん、肛門がん、中咽頭がん、尖圭コンジローマ。

Q 男性の接種費用は。

A 自己負担は、3回接種で5万円以上。

Q 埼玉県熊谷市は、対象者の2%を想定して予算化。本町での見解は。

A 対象者971名の2%と想定すると、

今後、検討の余地はある。

Q 接種費用の助成については。

A 国や近隣市町の動向を注視する。

障がい者施策

Q デフリンピック支援については。

A 知名度向上に向けて周知を行う。

Q 本町の窓口対応に、シースルーキャプションズの活用は。

A 研究、導入に向け

て検討していく。

まちづくり拠点施設

Q 駐車場、グラウンドについては。

A 磯浜緑地を検討、協議したい。グラウンドは考えていない。

Q 健康増進室の移転先と配食サービスは。

A 総合体育館を検討、配食サービスは社会福祉協議会と協議中。

Q 債務負担行為にある841万5千円の積算根拠は。

A 2社の見積もりにより予算計上した。

Q 内容については。

A まちづくり拠点施設に必要な機能や規模を検討する業務。

【※1】キャッチアップとは…積極的勧奨の差し控えにより、接種機会を逃した方を対象に実施する予防接種。

ワンヘルス推進宣言

Q 本町の取り組みは。

A 健康づくりに関する事業や、ワンヘルス事業に対応している。今後は、施設の組み立てを行う。

【※2】HPVとは…ヒトパピローマウイルス。



Q 本町でのオーガニック給食導入予定は

A 今のところ導入の予定はない



角崎 明美 (無党派)



Q 本町の新型コロナワクチン接種者数は。

A 12歳以上合計11万8493件、5歳から11歳合計1256件、乳幼児6ヶ月から4歳143件。

Q 新型コロナワクチン接種後の死亡者数、死亡原因に変化はあるのか。

A 新型コロナワクチンが原因で死亡した申し出は1件。死因は突然死。

Q 新型コロナワクチン

ン接種後、後遺症と見られる人数は。

A 現時点では4件。

【提言】子どものワクチン接種について、ワクチン接種をする前に、本場にワクチンが必要なのか、どんなリスクがあるのかを保護者がしっかり学んで判断していただく。行政はそのための情報提供をするべきだ。

地産地消への取り組み

Q 学校給食に昆虫食を取り入れる考えは。

A 昆虫食利用を検討したことはない。将来にわたっての利用も考えていない。

Q 学校給食の原材料の中で、地元産の使用割合は。

A 町内産の、米、みそ、トマトは100%。タマネギ、ジャガイモは1割弱。
Q 近い将来、本町でもオーガニック給食

を導入する予定はあるか。

A 数量の入手困難、給食費値上げへの影響のため、今のところ導入の予定はない。

【提言】供給する側にまだ問題はあるが、早期のオーガニック給食の導入をすべきだ。

コミュニティバス

Q コミュニティバスの路線変更、バス停の変更、増便、減便に関して基準はあるのか。

A 町民ニーズに加え、安全性、利便性などを総合的に勘案して決定する。

Q 要望を町に届ける手順は。

A 区内で要望をまとめ、要望書を提出。
Q 変更に必要な期間

は。

A しかるべき時期にトータルで見直しを行う。明確に答えられない。

Q 配車システムを活用した相乗りタクシー導入の検討は。

A 苅田町地域公共交通計画の策定に向け

て協議中。

Q 本町の観光客の状況は。

A コロナ前と比較すると伸び悩んでいる。

Q 対策は。
A 情報発信をして集客を図っていく。



冬の田園風景

Q パンジープラザ移転、基本の考えは

A 4つの方針を定め廃止を検討



友田 敬而 (無会派)



Q 4つの方針とは。

A ①令和8年度にパンジープラザを廃止する。②総合福祉会館をリニューアルして、町が直営すべき

障害者福祉事業と保険事業を実施する。③公共施設内に情報集約、発信や活動の場となる福祉のまちづくりの拠点を設ける。④民間の施設を活用する。

整合性は。

A 現在、社会福祉協議会やよろこびネットワーク、夢ニティハートとの協議を行っており、移転後の運営についても、今後詳細な協議を進めていく。今回の移転が福祉の後退ではなく、前進につながるよう努めていく。

Q 本町が宣言しているSDGsとの整合性は。

A 町として福祉の後退としないことを前提として進めており、これがSDGsの目標3「全ての人に健康と福祉を」に沿うものと考えている。



磯浜緑地

Q 白川地域の未来像については

A 白川だけでなく町全域で考える



坂本東二郎 (高志会)



Q 町村合併から68年経過した。現在の白川を踏まえ未来像をどう想定しているのか。

A 白川だけでなく、町全体で総合計画、マスタープランなどで農業振興等にどう取り組んでいくべきかを考慮している。

Q 等覚寺の再開通はいつになるのか。

A 現在、詳細設計中。それに基づいて復旧方法を決定したい。Q 道路が閉鎖・通行止めになっている再



150年を迎える白川小学校

開のめどは。

A 令和9年度までの工事を予定している。もっととスピードアップする手法は。

A ボーリング調査構造物の設計中であり、この結果を見て工期短縮の可能性を考えたい。

Q SDGsを宣言した本町では、だれもが健康に暮らすことが最も大切だと考えるが。

A 同様に考えている。

Q 利用者はパンジープラザの機能より、さまざまな町民が集い、社会との関わりがもてる施設を望んでいるが。

A 特別委員会で議論していただこうと考えている。

提言 一番大切なことは、ハンディキャップを持った方々の心のよりどころになること。みんなが集まりやすい中心市街地に、さまざまな方と関わり合いを持てるような施設にしてもらいたい。

空家・空地対策

Q 白川地域の空家空地は土地面積が広いのが特徴であり。放置されると影響が大きい。

A 適正に管理をお願いし、場合によっては助言・指導を行っている。

Q 空家をより有効に使うていける手法はないか。

A 本町では空家対策協議会を設置している。

Q 豊前市では空家解体後10年間は従前の固定資産税と同額条例があるが。本町は適用しないのか。

A 税の公平性の観点からも現時点では、減免については慎重な対応が必要である。

農業振興

Q 白川地域の基幹産業は農業であり、農地の圃場整備について聞きたい。

A 県営で圃場整備を行い、総面積は217ヘクタール。

Q 各地権者が農地を持ち寄りそれぞれが負担金を提出し、優良農地が形成された。費用は。

A 把握していない。

Q 農産物の販売開拓は。

A 米については自由販売になっており、行政として販売開拓はできていない。

Q 町民に白川米はどう消費されているか。

A 学校給食以外把握していない。提言 農業が持っている多面的機能を生かし景観と一般住宅が共生するための生活基盤整備を求めたい。



田園風景 (白川地域)



総合福祉会館



パンジープラザ

Q国は有機農業を推進しているが

Aまず、農業を継続できる仕組みを



岩谷 潔 (飛翔の会)



有害鳥獣対策

Qイノシシ被害が多いが、ハンターの人数が減ってきているのでは。

A有害鳥獣委員会に5名いるが、高齢化の課題がある。

Q免許取得の補助や啓発は。

A免許取得は広報で、啓発はポスター程度。

Q来年度の補助金増額は。

A考えている。

Q今後進めていくのか。

A本町の農業がまだその段階まで来ていない。

Q町長としての考えは。

A大変有意義だと思いが、農業者の意向を把握することが大事。

Q志のある農業者の育成やアドバイスを。

A指導する体制が取れていない。必要ならば県等の関係機関と相談しながら進める。

提言 SDGsやワンヘルスとの関係も踏まえて有機農業を推進して行ってもらいたい。

ワンヘルス

Qどのように考えて

いくのか。

A SDGsとも方向性が合致し広報周知から進めていく。

Q事業者に対しての啓発活動は。

A県にワンヘルス宣言事業者登録制度がある。考えていきたい。

Q県からの要請は。

A町が新たなことをやるのではなく、県との連携体制を強固にする意味で宣言した。

Q町民に対しての啓発は。

A県からパネルを借りて地産地消フェアなどで行った。



役場2階でのパネル展示

Q小波瀬西工大前駅周辺整備事業の現状は

A測量を完了し計画策定に向け、検討中



村上 智宣 (高志会)



コミュニティバス

Q現在の運行状況は。

A定期運行が4路線、接続線が3路線。

Q高齢化に関する将来予測は。

A2024時点高齢化率37%の予測。

Q町民ニーズを踏まえた運行ルートの見直しの検討は。

Aニーズ以外にも様々なことを踏まえて検討する必要がある。



コミュニティバス



Q将来に向け、本町の姿勢は。

A荏田町地域公共交通会議の場で計画とともに検討している。

提言 コミュニティバスは重要な足の一つ

である。よりニーズに合ったものとなっていくよう期待する。

Q国は有機農業を推進しているが

Aまず、農業を継続できる仕組みを



岩谷 潔 (飛翔の会)



有害鳥獣対策

Qイノシシ被害が多いが、ハンターの人数が減ってきているのでは。

A有害鳥獣委員会に5名いるが、高齢化の課題がある。

Q免許取得の補助や啓発は。

A免許取得は広報で、啓発はポスター程度。

Q来年度の補助金増額は。

A考えている。

Q今後進めていくのか。

A本町の農業がまだその段階まで来ていない。

Q町長としての考えは。

A大変有意義だと思いが、農業者の意向を把握することが大事。

Q志のある農業者の育成やアドバイスを。

A指導する体制が取れていない。必要ならば県等の関係機関と相談しながら進める。

提言 SDGsやワンヘルスとの関係も踏まえて有機農業を推進して行ってもらいたい。

ワンヘルス

Qどのように考えて

いくのか。

A SDGsとも方向性が合致し広報周知から進めていく。

Q事業者に対しての啓発活動は。

A県にワンヘルス宣言事業者登録制度がある。考えていきたい。

Q県からの要請は。

A町が新たなことをやるのではなく、県との連携体制を強固にする意味で宣言した。

Q町民に対しての啓発は。

A県からパネルを借りて地産地消フェアなどで行った。



役場2階でのパネル展示

Q将来に向け、本町の姿勢は。

A荏田町地域公共交通会議の場で計画とともに検討している。

提言 コミュニティバスは重要な足の一つ

である。よりニーズに合ったものとなっていくよう期待する。

2024年4月ヤマトHDが運航開始



ヤマトホールディングス（HD）、日本航空（JAL）グループと連携して、ヤマトHD初の貨物専用機（フレイター）が2024年4月、北九州空港で運航を開始します。同機は、小型旅客機の座席を取り外してレールを敷き、貨物用ドアを設置するなどの改造が行われました。成田―新千歳や成田―北九州など合計9便を運航し、長距離輸送手段として主に宅配便の貨物輸送に活用されます。国内の運送業界では、2024年4月からドライバーの時間外労働の上限規制に伴い、輸送力の減少が懸念されていますが、現在の陸上輸送ネットワークに高速長距離輸送が加わることで、輸送網の強靱化や安定輸送に期待が高まります。



表紙の写真



宇原神社の獅子祓



片島小で昔遊び



馬場小で餅つき

徹底しよう「三ない運動」

**贈らない・求めない
受け取らない**

●政治家の寄附禁止

政治家（立候補者・立候補予定者・現に公職にある者が選挙期間中に限らず、選挙区内にある者に対して寄附をすることは、名義のいかんに関わらず、罰則をもって禁止されています。有権者が求めることも禁止されています。

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
角崎	森	福山	田淵	末石	小山	村上	榎谷
明美	琢磨	直樹	朗	伸二	信美	智宣	忠明

議会広報特別委員会

あ тогоき

昨年は新型コロナウイルスが5類へと移行され、ようやくひと段落、変わって、インフルエンザが非常に流行しており、市民の皆様におかれましても、十分にご注意いただき、健康に過ごされますとともに、本年が素晴らしい一年となりますことを祈念いたします。

これからも苅田町議会
は、市民の皆様へ安心
をお届けできるように頑
張ってまいります。

村上智宣